

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2411
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	特産品育成・振興事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市特産品等を広くPRするとともに、交流都市等を中心とした各種物産展等へ出展し、特産品の振興に努める。		
30年度概要	物産展等の開催支援等による特産品振興事業：3,600千円		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	特産品のPR対象者数【出展物産展等の来場者数】
意図（どのような状態にしたいか）	参加した物産展等において、特産品等を広くPRし、経済の活性化につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
出展物産展等の出展回数	件		5	3	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	4,182	5,982	6,603	8,076
（事業費）	[千円]	1,188	1,350	2,127	3,600
（職員人件費）	[千円]	2,994	4,632	4,476	4,476

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度は彦根市・水戸市との観光と物産展の本市開催の年度であり、例年と比べ他都市での観光と物産展への出展件数が減少した。また、観光と物産展に継続して出展するだけでなく、本市特産品のブランド価値を高めるPR手法を検討する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域経済の活性化のため、特産品の育成・振興により地域ブランドの価値を高めることが求められており、本事業の継続実施は妥当である。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2411
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	伝統的ものづくり支援事業（産業振興課分）		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	盆栽・漆器・石製品を始めとする、本市伝統的ものづくり産業を振興するため「高松市伝統的ものづくり振興条例」（平成26年度施行）の基本理念に基づき、伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大や、次世代への担い手の確保・養成を図り、特産品の育成・振興とブランド化の推進及び地場産業の活性化を推進する。				
30年度概要	（単位：千円） 振興審議会 67 夏休み親子体験教室 84 夏休みリーフレット 229 学校巡回教室 675 セミナー 150 香川漆芸魅力発信 1,817 展示会及び見本市 1,560 振興事業補助金 1,500				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


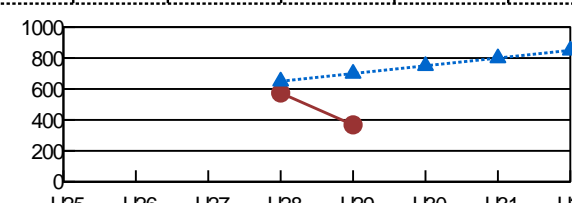

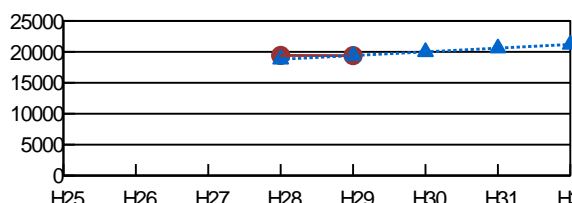
【事業の目的】

対象（何を）	伝統的ものづくり産業
意図（どのような状態にしたいか）	伝統的ものづくり産業の普及啓発・販路拡大・担い手育成

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
普及啓発事業開催件数	件		16	12	10	10
販路拡大事業出展等件数	件数		4	5	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	普及啓発事業等参加人数	件	目標値		650	700	750	750
			実績値		574	368		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 普及啓発事業を開催し、参加人数を増やすことで、特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与する。  (目標達成度)							(達成度) 52.6%
成果指標	販路開拓事業等来場者数	人	目標値		18,800	19,400	20,000	20,000
			実績値		19,421	19,391		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 販路拡大事業を開催し、来場者数を増やすことで、特産品の育成・振興とブランド化の推進に寄与する。  (目標達成度)							(達成度) 100.0%

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	18,126	19,509	15,550	15,566
（事業費）	[千円]	10,065	9,695	6,066	6,082
（職員人件費）	[千円]	8,061	9,814	9,484	9,484

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

伝統的ものづくり事業者や、審議会からの意見を踏まえ、普及啓発や販路拡大に並行して、事業者の事業環境整備、次世代を担う人材の確保等を積極的かつ効率的に行う必要があり、事業を充実させることが妥当である。また、普及啓発事業については、実施手法を見直すなど、より多くの参加が見込めるように努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域経済の活性化のため、本市の重要な産品の伝統を守り、発展させる取組が必要であり、本事業を充実させることは妥当である。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	特産品の育成・振興とブランド力の向上		電話番号	087-839-2422
	基本事業	特産品の育成・振興		事業実施主体	市
	事務事業	伝統的ものづくり支援事業（農林水産課分）		事業期間	平成 28年度～平成 33年度

【事業全体概要】

事業の概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念に基づき、高松盆栽の総合的な推進を図るため、盆栽事業者と連携し、高松盆栽 P R、盆栽の生産振興、輸出拡大による販路の拡大等を推進し、人づくりの推進及び高松盆栽の育成・振興並びにブランド化を図る。				
30年度概要	「高松市伝統的ものづくり振興条例」の基本理念及び高松盆栽の郷構想（仮称）に基づき、高松盆栽の総合的な推進を図るため、香川県、盆栽事業者等と連携し、高松盆栽 P R、生産振興、輸出拡大、販路拡大等を推進し、高松盆栽の育成・振興及びブランド化を図る。 高松盆栽振興事業				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	盆栽の振興
意図（どのような状態にしたいか）	高松盆栽の生産振興及び地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
イベント等における高松盆栽の P R 開催回数	回		4	7	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	盆栽輸出登録申請者数	人	目標値		21	22	23	23
			実績値		19	18		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 生産者の高齢化が進み、廃業などにより盆栽輸出登録申請者が減少し、目標を下回った。							(達成度) 81.8% 28点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]		10,002	19,967	32,623
（事業費）	[円]		4,506	14,656	27,312
（職員人件費）	[円]		5,496	5,311	5,311

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 高松盆栽の総合的な推進を図るため、県、盆栽事業者と連携し、高松盆栽 P R、盆栽の生産振興、輸出拡大を推進するための各種事業を実施した。 課題としては、生産者が事業主体となるため、今後の事業の精査が必要となっている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後も、県、盆栽生産者との連携を図り、国の交付金を活用し事業を検討・実施していく。			